

Sustainable Report No.032

「森を守る」 FSC認証紙の低認知度

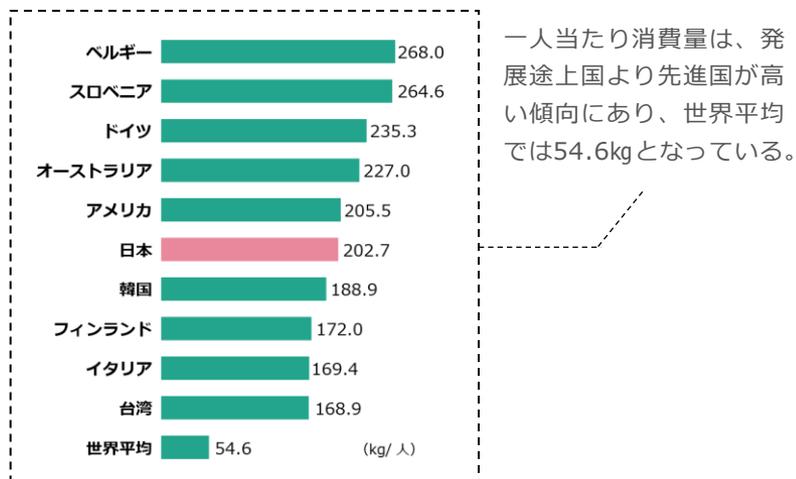


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 日本の紙の消費量は世界でも高水準

- 日本人の紙・板紙消費量は世界でも高水準で、2019年には一人あたり202.7kgにのぼった。その原料であるパルプの23.7%が**ブラジルやインドネシア**から輸入されている。
- CO2吸収源である**森林は世界で毎年平均330万ヘクタール**ずつ減少し、**ブラジルやインドネシア**といった熱帯森林の面積減少が特に著しい。（環境省公表値：2010～2015年平均）
- 紙の生産において、上記のような一部の国では**違法伐採や森林破壊**が起き、**温暖化など地球環境に悪影響**を及ぼす要因のひとつとなっている。

■ 国民一人当たりの紙・板紙消費量 <2019>



出典：日本製紙連合会/RISIAニューアル・レビュー

■ 伐採が進む森林の様子



イメージ写真:アマゾン地域で伐採された樹木/写真AC

紙を消費する私たちが環境の為にできること

■ 適切に管理された森林の木材を原料とした「FSC認証紙」

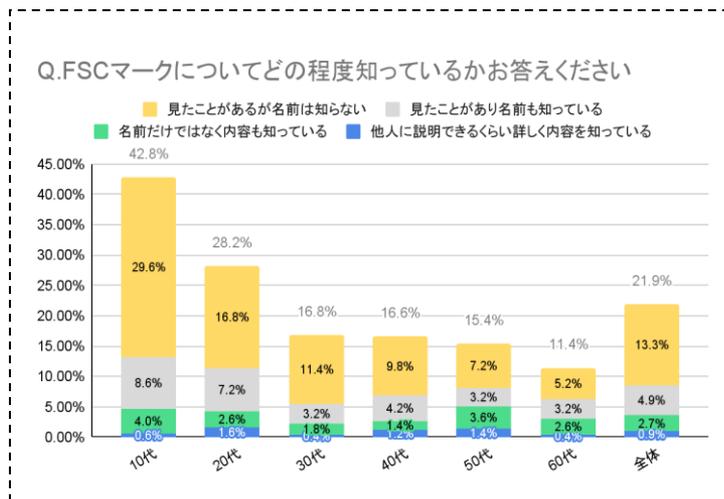
- 日本郵便が2022年用の年賀はがきの全てにFSC認証紙を採用。当初発行枚数は約18.3億枚にのぼる。
- 同社はこれまでも古紙を40%以上配合した再生紙を利用し環境に配慮していたが、**3年の開発期間を経てFSC認証紙の年賀はがきを発行した。**（基準を達成した森林での原材料の確保と紙質の調整）
- しかしながら、**FSC認証マークの認知度は21.9%**（2020年FSCジャパン調べ）。その中でも名前や内容については知らないという結果が出ており、**まだまだ認知度が不足している。**

■ 全ての年賀はがきが「FSCR認証紙」に



出典：郵便局の魅力を発信するメディア「JP CAST」
「森を守る」年賀はがきが、できました より

■ FSCマークの認知度（2020年）



出典：国際認証ラベルに関する調査FSC®ジャパン版報告書2020

〈調査概要〉
 ▼調査名
国際認証ラベルに関する調査
 ▼調査エリア
日本全国
 ▼調査対象
15歳～69歳の男女
 ▼サンプル数
3,000名
 ▼調査機関
2020年2月13日～17日
5日間

FSC認証紙を意識して選ぶ社会に

■ FSC認証紙製品を利用することが世の中のスタンダードに

- スーパーやコンビニ、ホームセンター等、FSC認証マークのついた商品は様々な場所で見られるようになったが、**マークについての説明は少なく、消費者の認知度もさほど上がっていないのではないかと**。
- FSC認証製品の**活用意義を知り、積極的に選択**、また、プラスチック製品の代替として活用する社会が理想である。
- 製造業や商社が、可能な限りFSC認証製品への置換を推進し、**消費者へFSC認証という仕組みの認知を促す**ことで、自然と手に取る商品がFSC認証製品となり、地球環境保護意識への向上へ繋げる。

■ 様々な商品にFSC認証マークは表記されています



イメージ図：写真AC、イラストACの素材をもとに筆者作成

森を守り、地球環境を守り続ける社会の実現へ

FSCマークを目印に製品を選ぶことで、森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品を選んで購入することができます。

FM認証

(森林管理認証)
Forest Management



「切って、使って、植える」
という循環的利用の管理

10の原則、70の基準、
更にその下に約200もの
細かい指標があり、この
規格に沿って審査を受け、
大きな不適合がなければ
認証を受けることができ
ます。

FSC認証製品

(森林管理協議会認証)
Forest Stewardship Council



CoC認証

(加工流通過程の管理認証)
Chain of Custody

FM認証を受けた森林から産出された木材・紙製品を
適切に管理・加工していることを認証



本当に適切な製品のみ
にFSC商標が使用され
るよう、CoCの細かい
規格、ルールがあり、
認証材、製品を扱う業
者はこのCoCのルール
を満たし、認証を取
得する必要があります。

これには伐採業者、加工業者、製造業
者、流通業者、印刷業者、小売業者*
などが含まれます。
*小売業者は業務形態により認証が必要な場合
があります。

森林の管理を認証するFM認証と、加工・流通過程の管理を認証するCoC認証の連鎖から成り立っています。FSC認証製品が消費者の手に届くまでには、森林から最終製品になるまでの生産、加工、流通に関わるすべての組織が認証を受けなくてはなりません。

■ 参照・引用資料

- FSC ジャパン,公式ホームページ,,2022年5月13日参照 (<https://jp.fsc.org/jp-ja>)
- 日本製紙連合会,「世界の中の日本」,2022年5月13日参照 (<https://www.jpa.gr.jp/states/global-view/index.html>)
- 環境省,「世界の森林を守るために」,2022年5月13日参照 (https://www.env.go.jp/nature/shinrin/index_1_1.html)
- 環境省,「森林保全・砂漠化対策」,2022年5月13日参照 (<https://www.env.go.jp/nature/shinrin/index.html>)
- 日本郵政グループ,「郵便局の魅力を発信するメディア JP CACT:「森を守る」年賀はがきが、できました」,2022年1月1日 (<https://www.jpcast.japanpost.jp/2022/01/151.html>)
- 国際連合総合センター,「持続可能な開発目標「SDGs」報告2020」,2022年5月13日参照 (https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。